

エコアクション21

2024年度環境経営活動レポート

対象期間 2024年4月 ～2025年3月



宝明電子工業株式会社



エコアクション21
認証番号 **0006999**

発行日 2025年4月28日
改訂日 2025年5月12日

目 次

1.	会社概要	
1)	登録事業所の概要	・ ・ ・ ・ ・ 3
2)	沿革	
2.	環境マネジメントシステム	
1)	エコアクション 2.1 環境経営組織図	・ ・ ・ ・ ・ 5
2)	役割責任及び権限	
3.	環境経営方針	
1)	環境への負荷	・ ・ ・ ・ ・ 7
4.	環境活動計画の達成状況	
1)	2024年度 環境活動計画と達成状況及び評価と結果	・ ・ ・ ・ ・ 8
2)	2024年度 取組の結果	
3)	項目毎の見直し結果	
4)	2025年度以降の目標	
5.	環境関連法規	
1)	法規制の遵守状況のチェック結果	・ ・ ・ ・ ・ 11
2)	違反・訴訟等の有無	
6.	代表者による評価と見直し・指示	
		・ ・ ・ ・ ・ 12

1. 会社概要

1) 登録事業所の概要

本社及び工場は一体となっており、すべてを対象事業所とする。

(1) 事業所名及び代表者名

宝明電子工業株式会社

代表取締役社長 橋本 天利

(2) 所在地

本社 工場

〒665-0051

兵庫県宝塚市高司 4-3-3 5

URL <http://www.houmay.co.jp>



(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	竹内 克己
環境管理担当者	立脇 康至

連絡先	TEL 0797-74-7311
-----	------------------

FAX 0797-74-5173

E-mail	info@houmay.co.jp
--------	-------------------

(4) 事業内容（認証・登録範囲）

制御盤、計装盤、動力盤、分電盤などの設計・製造・販売と関連メンテナンス部品の販売

制御装置技術分野

○立体駐車場分野／マンション、商業施設等の二層式からゴンドラ式、エレベーター式までの受電・動力・制御盤製作

○環境保全分野／農業用水から地方自治体が運営する大型下水処理場等の環境保全システムの制御盤製作

○航空旅客機搭乗橋／搭乗橋の制御盤製作

○各種産業ロボット分野／各種制御盤の設計・製作

(5) 事業規模

資本金	1,000万円
売上高	79,000万円（2024年度）
従業員数	40名
事業所の延床面積	792m ²
敷地面積	500m ²

(6) 事業年度

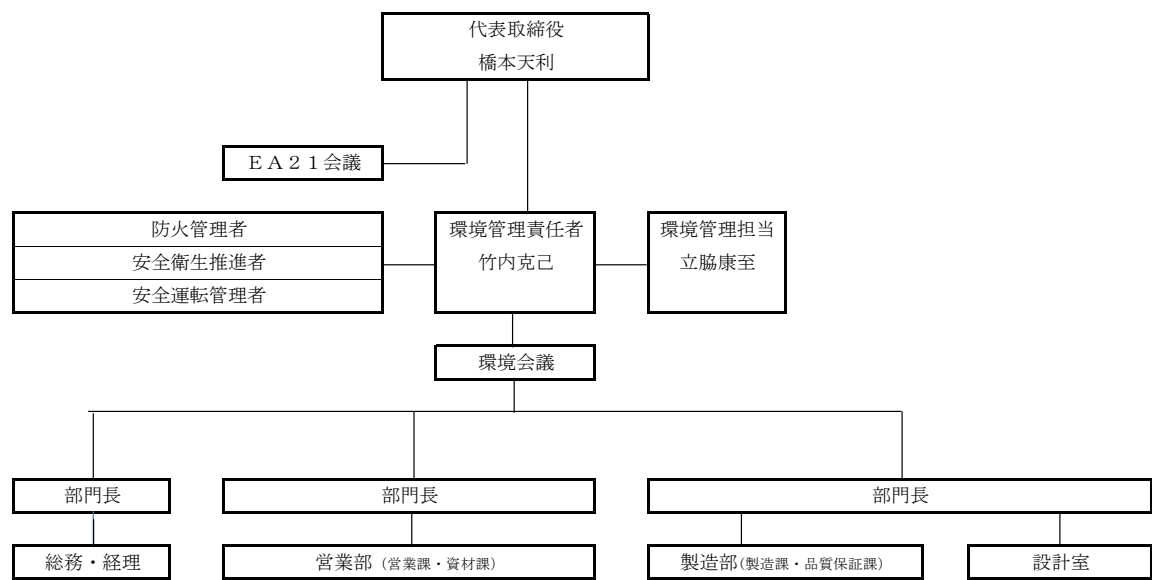
4月～3月（対外的に5月末締め切り。EA21の認証登録日を考慮し、内部的には3月末に締め切っている）

2) 沿革

創業	昭和61年
会社設立	昭和63年2月

2. 環境マネジメントシステム

1) エコアクション 21 環境経営組織図



2) 役割責任及び権限

	役割・責任・権限
社長	・経営環境に関する統括責任 ・環境計画の承認 ・EA21を運用・維持するための経営資源の用意 ・社長による全体の評価の見直しと指示
E A 2 1 会議	・社長を委員長として、管理職で構成する ・環境関連事項について検討、決定する
環境会議	・環境管理責任者を委員長として、全従業員で構成する ・環境関連事項について検討、決定する ・活動状況報告及び教育の実施
環境管理責任者	・環境経営システムの実施、管理 ・環境活動の取組結果を社長へ報告 ・環境目標の設定 ・外部からの苦情、要望の受付 ・省エネ推進 ・フロン管理責任者
環境管理担当者	・環境責任者の実務全般を補佐 ・環境レポートの作成 ・違法のとりまとめとチェック ・各文書のまとめ ・記録の集計
部門長	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門担当者の選任、とりまとめ ・廃棄物排出量の削減
部門担当者	・特定された項目の手順書の作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置 ・グリーン購入の推進
全従業員	・環境活動への意識向上 ・環境活動の取組への積極的な参加 ・再資源化、及び紙資源等の省資源化の推進 ・排水量の削減

3. 環境経営方針

《 基本方針 》

環境理念

私たちは、地球環境問題を、事業活動をする上での重要課題の一つと認識し、制御盤の製作を通じて、環境への取組と環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。
全従業員の環境方針に対する理解と環境に関する意識向上、教育を図ります。

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続な改善に取り組みます。

(1) 省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。

- ・事業所における電力の使用量削減
- ・自動車用燃料の使用量削減

(2) 廃棄物排出量の削減と再資源化の推進

- ・一般廃棄物（可燃ごみ）の削減
- ・産業廃棄物の再資源化

(3) 省資源化および再資源化の推進

- ・紙資源等の省資源化推進
- ・その他回収可能な資源の再資源化推進

(4) 排水量の削減

- ・水道の使用量削減

(5) グリーン購入の推進

(6) 顧客満足度の向上を図る

- ・従業員の技量向上

2. 環境関連法規および当社が同意したその他の要求事項を遵守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

制定2010年11月25日

改訂2024年5月23日

宝明電子工業株式会社
代表取締役 橋本 天和



1) 環境への負荷

環境負荷の実績 ※4年間

環境への負荷			単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO ₂	33,780	29,936	31,924	32,237
エネルギー使用量	購入電力		kWh	66,114	56,407	56,070	56,814
	ガソリン使用量		L	5,357.62	5,342.35	6,244.16	6,279.16
廃棄物排出量	一般廃棄物	可燃ごみ（一般ごみ）排出量	t	1.198	1.102	1.020	1.042
		紙資源ごみ排出量	t	0.535	0.654	0.542	0.621
	有価物	有価物（電線くず）排出量	t	0.753	0.530	0.572	0.670
		有価物（アルミくず）排出量	t	0.065	0.033	0.024	0.057
		有価物（鉄くず）排出量	t	0.297	0.154	0.450	0.100
	産業廃棄物	（廃プラ、金属くず、木くず等）	t	1.09	1.23	1.23	1.33
総排水量	下水道		m ³	134.00	130.00	140.00	172.00
水使用量	上水		m ³	134.00	130.00	140.00	172.00
紙（コピー用紙）使用量	紙（コピー用紙）使用量		枚	207,500	162,000	169,500	160,500
物質使用量	資源使用量		t	67.40	60.08	93.80	98.16
総製品生産量	製品生産量等		t	77.2	68.9	108.0	113.1
グリーン購入	グリーン購入の推進		行動目標とし実施する				

※産業廃棄物量は、リサイクル量を含んでおりません。

※調整後排出係数：環境省・経済産業省公表より

年度	電力会社	調整後排出係数 (kg-CO ₂ /kw)	備考
2019年	出光グリーンパワー	0.158	※基礎排出係数を使用
2020年	出光グリーンパワー	0.199	※以降、調整後排出係数使用
2021年	出光グリーンパワー	0.2	※2021.4～6月分に適用
2021年	関西電力	0.351	※2021.7～2022.3月分に適用
2022年	関西電力	0.311	
2023年	関西電力	0.311	2023年の関電実数値は0.434 ※比較の為、22年度の数字使用
2023年	関西電力	0.311	2024年の関電実数値は0.419 ※比較の為、22年度の数字使用

4. 環境活動計画の達成状況

1) 2024年度 環境活動計画と達成状況及び評価と結果

◎：よくできた ○：まあまあできた △：あまりできなかった ×：全くできなかった

項目		取組内容	達成状況
エネルギー使用量	電力使用量の削減	昼休みの照明消灯の継続徹底する	○
		残業時間の照明は必要箇所のみ使用する (必要箇所のみ点灯を心がける)	○
		不必要な照明の電球を外す	◎
		長時間使用しない場合、 パソコンの電源をこまめに消す	○
	ガソリン使用量の削減	搬送を計画的にするなどの削減対策の検討をする	○
		エコ運転に心がける	○
廃棄物排出量	一般ごみ排出量の削減	一般ごみを細かく分別し削減する	○
		段ボールとの分別を図る	◎
	有価物排出量の削減	廃棄物から有価物を分別し再資源化する	○
		配線用ダクト(廃プラ)くずはメーカーでのリサイクル化を図る	◎
		材料くずを減らす作業方法を図る	○
水使用量	水道使用量の削減	蛇口から出す水を少しにする	○
		こまめに水を止めてだしっぱなしにしない	○
紙(コピー用紙)の使用削減	紙(コピー用紙)使用量の削減	プリントアウト時、細かく両面・集約設定を行う。	○
		可能な限りデータで保管する	○
		作成した資料は、メールにて送信する	○
		メール等で入手したデータは必要分のみ印刷する	○
グリーン購入の推進		グリーンマーク、エコマーク商品の購入の推進	○
顧客満足度の向上	従業員の技量向上	スキルマップの作成	○
		多能工の育成(業務範囲の拡大・資格の取得による人材育成)	○

※化学物質においては製造工程での使用はなく、出荷前製品の清掃用途のみで使用量も少量のため、削減目標は設定していない。

2) 2024年度 取組の結果

※2024年の目標は2022年度に設定した25年度まで、22年度の数値を3年間の維持としております。

環境への負荷			単位	2022年度	目標値 2022年度実績の 維持	2024年度	評価
温室効果ガス 排出量	二酸化炭素（注） （実測値/原単位）		kg-CO ₂	29,936		32,237	○
			kg-CO ₂ /t	434.5	434.5	285.3	
	電力 （実測値/原単位）		kWh	56,407		56,814	○
			kWh /t	818.7	818.7	502.8	
	ガソリン （実測値/原単位）		L	5342.35		6279.16	○
			L/t	77.5	77.5	55.6	
廃棄物排出量	一般廃棄物 （実測値/原単位）	ごみ（可燃ごみ）	t	1.102		1.041	○
			t/t	0.0160	0.0160	0.0092	
		紙資源回収	t	0.65		0.62	○
			t/t	0.00949	0.00949	0.00549	
	産業廃棄物 （実測値/原単位）	廃プラ、金属くず、 木くず等	t	1.23		1.33	○
			t/t	0.01785	0.01785	0.01177	
		有価物（電線、 アルミ、鉄くず）	t	0.727		1.046	○
			t/t	0.0106	0.0106	0.0093	
水使用量	上水 （実測値/原単位）		m ³	130		172	×
			m ³ /人	3.82	3.82	4.30	
グリーン購入量	グリーン購入項目の推進 （目標値：行動目標）		-	行動目標とし実施する			○
顧客満足度の向上	従業員の技量向上	スキルマップの作成	-	一部のみ	スキルマップの作成	一部のみ	△
		人材育成	名	0	1	1	○

※目標値は、2022年度の実績値の維持とします。

※排出係数は7ページ参照 ※22年度数値を基準として使用（0.311（kg-CO₂/kw））

※原単位の見直し：総製品生産量では（2022年：68.9t 2024年113.0t）

ただし、水使用量の原単位は人数とする

※自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目で環境目標にする物はない

3) 項目毎の見直し結果

(1) 電力使用量の削減

使用量は僅からながら増になってしまいました。ハードでの取組がひと段落しましたので、次の活動に向けての取組を検討していきます。

(2) ガソリン使用量の削減

引き続き生産・出張増の中、使用量は微増に抑える事が出来ました。（原単位では減）。エコ運転は継続します。

(3) 一般ごみ排出量の削減

こちらも仕事量が増える中、微増に抑える事が出来ました。
引き続き分別する意識を全従業員に浸透させて分別・削減に努めます。

(4) 産業廃棄物

・産廃（廃プラ・金属くず・木くず等）においては、仕事量が増える事で、電線ドラム（木くず）、ダクト（産廃）はもっと増えると思いましたが、微増に留める事が出来ました。
・有価物（電線・アルミ・鉄くず）においては、電線・アルミは今年も増えてしまいました。仕事量が増えているので、仕方がないのですが、鉄は減らす事が出来ましたので、一つ一つでも削減出来る様に継続して参ります。

(5) 水道使用量の削減

12月分から使用量が増えており、特に変化点はなく様子見していましたが改善されず、再度詳しく調査したところトイレタンクからの水漏れが発見されました。修理は完了しておりますので次の使用量にて確認します。

(6) 紙（コピー用紙）使用量の削減

仕事量が増える中、前年度より僅かですが減らす事ができました。また今年は電子印の普及と、ノートパソコンを増やしペーパーレスでの会議や活用の幅を増やす事が出来ました。今後も引き続き削減努力を継続して参ります。

(7) グリーン購入項目拡大

グリーン購入におきましては、今年も新規項目での購入品がありませんでした。自社で使用する物は行き届いたと判断し、今後は管理項目から外し、現状維持に努めます。

(8) 顧客満足度の向上

今年はスキルマップの作成。人材多様化を実施しました。また、各種セミナーへの参加でスキルアップに努めました。引き続きセミナーや資格取得の助成を実施し、個人のスキルアップを通して顧客満足度の向上に繋げていきます。

4) 2025年度以降の目標

2025年度は、2022年度の維持を目標としています。今年も仕事量が増える中、目標を達成する事ができました。実績数値では微増の項目もありました。
引き続き、人材育成やハードの改善を取り組んで行きたいと思います。

5. 環境関連法規

1) 法規制の遵守状況のチェック結果

環境法規制等の名称	遵守条項(関連条文)	実施内容と確認	遵守状況	確認日 担当者
廃棄物処理法	委託基準 1. 委託先の許可確認	収集運搬及び処分業者の許可証の確認 中間処理場等の現地確認 施設能力等の公開情報の確認 (処分状況の確認)	○	2025. 4. 18 竹内
	委託基準 2. 委託契約の締結 委託基準 3. 契約書の5年間保存	委託契約書の内容確認 (委託金額、産業廃棄物の種類、性状、 性状等変更情報の伝達方法等)	○	2025. 4. 18 竹内
	マニフェストの交付 1. 交付義務	適合マニフェストを使用 使用マニフェストを管理台帳にて保管	○	2025. 4. 18 竹内
	マニフェストの交付 2. 回収・照合 (発行後B2 D票90日 E票180日以内) マニフェストの交付 3. A, B2, D, E票保管 (5年間) ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」 (前年度実績、毎年6月30日までに)	マニフェスト管理台帳にて回収日の管理、A票の照合欄 チェック (回収期間内に返送され、法定事項記載確認済み) 措置内容等報告書 (知事への報告) ※2025年4月14日提出済み	○	2025. 4. 18 竹内
家電リサイクル法	【特定家庭用機器】 テレビ、(液晶・プラズマ含)、エアコン、 電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、 衣類乾燥機の廃棄物処理	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き 取り依頼する ※2024年は排出なし	○	2025. 4. 18 竹内
小型家電 リサイクル法	【小型電子機器】 電話機、携帯電話、デジタルカメラ、プリン ター、グラインタードール、レンジ、扇風機、掃 除機、電気ストーブ、蛍光灯器具、時計 の排出	自治体指定の分別方法で排出する ※2024年は排出なし	○	2025. 4. 18 竹内

環境法規制等の名称	遵守条項(関連条文)	実施内容と確認	遵守状況	確認日 担当者
資源有効利用促進法	【事務用パソコン】 パソコン本体、ディスプレイの破棄物処理	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する ※2024年：パソコン・ディスプレイ各1台	○	2025. 4. 18 竹内
自動車NOx・PM法7	NOx・PM法の対策地域(大阪、兵庫)	車検による規制(車種規制) 車検書にて排出基準に適合しているかチェック	○	2025. 4. 21 新矢
フロン排出抑制法	空調設備の撤去 エアコン、冷蔵(自販機、冷水器等々含む)等の特定物質(CFC等)を使用する設備からの排出抑制 簡易点検	専門業者による回収・破壊 特定物質使用設備の有無確認 管理責任者の選任 ※2024年は無し	○	2025. 4. 18 竹内

2) 違反・訴訟等の有無
過去10年間に、違反・訴訟はありませんでした。

6. 代表者による評価及び見直し・指示

≪ 評価 ≫
 今年度は、長らく我々の課題であった部品の入荷問題に一定の改善が見られ、安定した生産活動を進めることができました。一方で、引き続き特需の影響により業務量は高い水準にありましたが、その中でも各項目を微増に抑えながら成果を上げられたことは、現場の努力の賜物であり、大いに評価しています。
 また、組織体制の見直しを図る中で、ここ数年十分に組み合わせていなかったスキルアップ活動にも再び光を当てることができました。各自が積極的にセミナーへ参加し、個々の意識向上に努めてくれたことは、会社全体の成長へとつながる大きな一歩です。今後も、現場からの提案をどんどん挙げてもらえることを期待しています。
 設備面では、エアコンなどのハード面での更新がひと段落し、現在は生産管理ツールの導入やモバイルツールの普及など、ソフト面の充実に注力しています。これらの新たなツールを有効活用し、さらなる業務効率化と生産性向上に結びつけてください。
 今後も変化を恐れず、チャレンジ精神を持って業務に取り組んでいきましょう。皆さんの引き続きの尽力に期待しています。(2025年4月22日)

- ・環境方針
 ...
 ☒変更する必要性なし
 ☐変更する必要性あり

・環境目標・計画
 ...
 ☒変更する必要性なし
 ☐変更する必要性あり

・実施体制
 ...
 ☒変更する必要性なし
 ☐変更する必要性あり